



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社ミマキエンジニアリング
 コード番号 6638 URL <https://ir.mimaki.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 和明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 清水 浩司

TEL 0268-80-0058

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	13,292	3.2	126	83.9	140	75.2	73	77.5
2019年3月期第1四半期	12,879	6.3	788	114.5	565	88.0	328	63.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 256百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 52百万円 (84.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	2.45	
2019年3月期第1四半期	10.93	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	57,010	17,817	30.9
2019年3月期	58,463	19,010	32.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 17,637百万円 2019年3月期 18,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		7.50		7.50	15.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		7.50		7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,950	9.4	800	47.4	650	47.0	450	41.5	14.81
通期	60,100	8.4	2,150	28.5	1,800	31.9	1,300	22.6	42.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	32,040,000 株	2019年3月期	32,040,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,545,767 株	2019年3月期	1,375,767 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	30,115,888 株	2019年3月期1Q	30,040,210 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(偶発債務)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、不透明な状況で推移いたしました。米中貿易摩擦は、当事者国のみならず世界中のサプライチェーンに不安と混乱を与え、英国のEU離脱問題の混迷や米国・イランの対立激化は、グローバルレベルで投資マインドの低下や景況感の悪化をもたらしております。国内経済においても、深刻化する人手不足に加えて消費税引き上げを控える政治面や、円高懸念を抱える市場面において多くの不安材料が内在し、世界経済と同様に楽観できない状況で推移いたしました。

このような中、当社グループは、独自のラスタ技術(インクジェット等)とベクター技術(カッティング等)を柱とした市場志向の製品開発により、デジタルオンデマンド生産のマーケットリーダーを目指し、「M1000」の経営スローガンのもと年商1,000億円を目標に持続可能な成長に向けて鋭意取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は132億92百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は1億26百万円(同83.9%減)、経常利益は1億40百万円(同75.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は73百万円(同77.5%減)と増収減益となりました。

また、当第1四半期における主要な為替レート(2019年4月～2019年6月の平均レート)は、1米ドル=109.09円(前年同期109.07円)、1ユーロ=123.49円(前年同期130.06円)で推移し、総じて為替相場の影響は利益を押し下げる要因(特にユーロ)となっております。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(日本・アジア・オセアニア)

日本・アジア・オセアニアにおける売上高は61億98百万円(前年同期比21.5%増)であります。前年10月に連結子会社化したアルファードデザイングループの売上高が加算された影響で前年同期を大きく上回りました。この影響を除いても前年同期比で増収を確保しております。

(北・中南米)

北・中南米における売上高は29億68百万円(同1.9%減)であります。北米市場は引き続き好調に推移しておりますが、中南米市場においては不安定な政局や為替相場の影響を受けて減収となり、全体として前年同期比微減となっております。

(欧州・中東・アフリカ)

欧州・中東・アフリカにおける売上高は41億24百万円(同13.1%減)であります。為替相場が前年同期より円高ユーロ安で推移したことに加え、欧州主要国での売上高が減少し、前年同期比で減収となっております。

当第1四半期連結累計期間における市場別の売上高は以下のとおりであります。

	売上高(千円)	構成比率(%)	対前期増減率(%)
SG市場向け	5,232,219	39.4	△11.9
IP市場向け	3,591,128	27.0	△7.7
TA市場向け	1,455,447	10.9	6.0
FA事業	914,036	6.9	—
その他	2,099,413	15.8	25.3
合計	13,292,245	100.0	3.2

また、当第1四半期連結累計期間における品目別の売上高は以下のとおりであります。

	売上高(千円)	構成比率(%)	対前期増減率(%)
製品本体	5,617,879	42.3	△4.5
インク	4,690,536	35.3	1.8
保守部品	968,875	7.3	△8.5
その他	2,014,954	15.1	51.5
合計	13,292,245	100.0	3.2

(SG市場向け)

SG市場向け製品における売上高は52億32百万円(前年同期比11.9%減)であります。環境に優しいUV硬化インクを搭載した「UCJVシリーズ」は堅調に推移しているものの、主力製品の1つである溶剤系インクを搭載した「JVシリーズ」の売上高が減少し、前年同期比で減収となっております。

(IP市場向け)

IP市場向け製品における売上高は35億91百万円(同7.7%減)であります。新製品効果により大型機種「JFXシリーズ」の売上高は拡大したものの、主力の小型機種「UJFシリーズ」の売上高が減少し、前年同期比で減収となっております。

(TA市場向け)

TA市場向け製品における売上高は14億55百万円(同6.0%増)であります。低ランニングコストと長時間連続運転が可能な新製品「TS55-1800」を3月から発売開始した効果により、前年同期比で増収となっております。

(FA事業)

ファクトリーオートメーション装置事業(カスタム機器)や基板実装装置事業(異形部品挿入装置、防湿剤の塗布装置)を中心とした、アルファードesignグループが手掛ける事業の総称であります。FA事業における売上高は9億14百万円ですが、米中貿易摩擦や半導体市場の減速等の影響により、現段階の売上高進捗率は計画を下回っております。

なお、当第1四半期連結累計期間において減益となった主な要因は、以下の4点と認識しております。

- ① SG市場の競争環境激化
- ② 売上高に連動するべき経費コントロールの遅れ
- ③ FA事業の受注減少に伴う採算悪化
- ④ 総じて円高に推移した為替レートによる利益率の低下

これらに対する今後の対策につきまして、①は徹底した市場分析を踏まえて有効な製品戦略と販売促進策を実施してまいります。②は売上高に見合った経費のコントロールに努めてまいります。③は当社グループにアルファードesignグループが加わったメリット(技術シナジー)を活用した新製品開発等も視野に入れて収益貢献できる体制を構築してまいります。④はインクの消費地生産を中期的に拡大する等により為替感応度の低減を図ってまいります。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,994,422	11,852,936
受取手形及び売掛金	9,442,738	8,721,455
商品及び製品	12,292,865	12,868,802
仕掛品	1,584,892	1,546,636
原材料及び貯蔵品	4,145,331	4,154,239
その他	2,689,769	2,537,910
貸倒引当金	△28,793	△37,776
流動資産合計	42,121,226	41,644,203
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,225,831	4,134,660
土地	3,262,745	3,262,745
その他(純額)	3,235,535	3,133,807
有形固定資産合計	10,724,112	10,531,212
無形固定資産		
のれん	1,441,724	1,358,161
その他	956,577	897,775
無形固定資産合計	2,398,301	2,255,937
投資その他の資産		
投資有価証券	69,552	68,963
繰延税金資産	1,504,652	1,468,504
その他	2,088,824	1,466,330
貸倒引当金	△443,665	△424,945
投資その他の資産合計	3,219,364	2,578,852
固定資産合計	16,341,777	15,366,002
資産合計	58,463,004	57,010,206
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,726,025	3,824,720
電子記録債務	4,626,156	4,824,505
短期借入金	11,054,710	11,596,703
1年内返済予定の長期借入金	2,615,481	2,365,380
リース債務	101,157	84,560
未払法人税等	327,606	113,965
賞与引当金	881,035	353,546
役員賞与引当金	40,673	2,076
製品保証引当金	1,008,315	927,160
その他	4,510,291	5,022,480
流動負債合計	28,891,454	29,115,098
固定負債		
長期借入金	9,564,594	9,106,582
リース債務	338,609	321,295
繰延税金負債	72,326	60,725
退職給付に係る負債	452,687	456,879
資産除去債務	47,600	47,091
その他	85,094	85,094
固定負債合計	10,560,911	10,077,667
負債合計	39,452,365	39,192,765

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,357,456	4,357,456
資本剰余金	4,617,040	4,617,040
利益剰余金	11,509,976	11,353,650
自己株式	△618,501	△1,329,614
株主資本合計	19,865,971	18,998,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	977	492
為替換算調整勘定	△1,068,880	△1,389,928
退職給付に係る調整累計額	30,617	28,072
その他の包括利益累計額合計	△1,037,285	△1,361,364
新株予約権	12,088	16,134
非支配株主持分	169,864	164,137
純資産合計	19,010,639	17,817,440
負債純資産合計	58,463,004	57,010,206

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	12,879,317	13,292,245
売上原価	6,567,224	7,499,605
売上総利益	6,312,093	5,792,640
販売費及び一般管理費	5,523,106	5,665,796
営業利益	788,987	126,843
営業外収益		
受取利息	11,475	9,440
受取配当金	350	618
受取保険金	400	88,891
仕入割引	5,208	8,688
その他	8,571	40,540
営業外収益合計	26,006	148,179
営業外費用		
支払利息	39,112	68,365
売上割引	22,626	22,277
為替差損	143,473	15,398
持分法による投資損失	40,329	6,977
その他	3,767	21,743
営業外費用合計	249,309	134,761
経常利益	565,683	140,261
特別利益		
固定資産売却益	9,583	5,865
特別利益合計	9,583	5,865
特別損失		
固定資産売却損	1,272	423
特別損失合計	1,272	423
税金等調整前四半期純利益	573,994	145,703
法人税、住民税及び事業税	86,783	60,467
法人税等調整額	167,178	14,441
法人税等合計	253,962	74,908
四半期純利益	320,032	70,794
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,191	△2,905
親会社株主に帰属する四半期純利益	328,224	73,700

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	320,032	70,794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,376	△485
為替換算調整勘定	△272,264	△324,356
退職給付に係る調整額	△3,089	△2,545
持分法適用会社に対する持分相当額	11,693	487
その他の包括利益合計	△267,037	△326,900
四半期包括利益	52,995	△256,105
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,387	△250,378
非支配株主に係る四半期包括利益	△12,391	△5,726

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年12月13日及び2019年6月14日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が711,113千円増加し、当第1四半期連結会計期間期末において自己株式が1,329,614千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、連結子会社であった株式会社アルファータックは、連結子会社である株式会社アルファシステムズによる吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(偶発債務)

当社の連結子会社であるMIMAKI BRASIL COMERCIO E IMPORTACAO LTDA(以下、ミマキブラジル社)は、当社インクジェットプリンタの輸入に関して、ブラジル国の税務当局から調査を受け、2件合計84,920千ブラジルレアルの追徴課税通知を受け取りました。ミマキブラジル社は当局からの指摘内容を不服とし、2018年9月に追徴課税通知を受けた44,494千ブラジルレアルに関しては税務訴訟の準備を進めており、2018年11月に追徴課税通知を受領した40,425千ブラジルレアルに関しては同年12月に不服申し立てを行っております。

ミマキブラジル社は、本追徴課税は根拠がないものとする考え方に基づき、適切に対処してまいります。従って、現時点で当社グループの業績への影響額を見積もることは困難であります。

なお、本件は2019年3月期第3四半期に発生したものであり、新たに発生したものではありません。